

【まちづくりの基本方向】 6-1 すべての人がスポーツに親しむことのできる環境づくり

【計画目標】

- ①ライフステージに応じて誰もがスポーツに親しむ機会を充実させます。
- ②スポーツ施設や学校体育施設等、誰もがスポーツを楽しめる環境を整備します。

【現状と課題】

本市には、体育館・野球場・テニスコート・プール・陸上競技場等のスポーツ施設があるほか、学校教育に支障のない範囲で小・中学校の学校体育施設を一般に開放することによって、誰もがスポーツに親しむことのできる環境づくりに努めており、年間で延べ 100 万人以上が利用しています。

今後、スポーツに参画する人口の一層の拡大をめざし、特に、現在はスポーツ実施率が比較的低い働き盛り世代や障がい者の実施率の向上を図るため、個々の世代・関心・適性等のライフステージに応じて誰もがスポーツに親しむ機会を充実させていく必要があります。

あわせて、市内には、昭和の時代に整備され老朽化が進んでいるスポーツ施設が増加しており、老朽化対応とともに、ユニバーサルデザイン化等時代のニーズに合った機能強化についても検討を進め、計画的に改修・整備を行う必要があります。

【主な取組】

- ①スポーツに親しむ機会の充実
 - ・少年スポーツ教室・大会等の子供の健全育成につながるスポーツ活動の充実
 - ・市主催大会等健康増進に寄与する成人のスポーツへの参加促進とスポーツ活動の充実
 - ・障がい者と健常者が一緒にできる障がい者スポーツ活動の充実
- ②スポーツを楽しむ環境の整備
 - ・老朽化対応及び時代のニーズに合わせたスポーツ施設の改修
 - ・共生社会の実現に寄与する鳥取県と共同での新体育館整備の推進
 - ・学校体育施設の開放

数 値 目 標	スポーツ施設及び学校体育施設の年間延べ利用者数	
	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	1,047,861 人	1,200,000 人

【関連計画】

- 米子市スポーツ推進計画
- 米子市公共施設等総合管理計画

【まちづくりの基本方向】 6-2 スポーツを通じた地域の活性化

【計画目標】

- ①スポーツツーリズム等による交流人口の拡大や地域経済の活性化を推進します。
- ②スポーツを通じた国際交流、地域のスポーツ活動への参加及び地元のスポーツチームの応援を促進します。

【現状と課題】

スポーツには、イベントへの参加や試合の観戦、観光を組み合わせたスポーツツーリズム等でその地域を訪れるスポーツファンや観光客などによって地域を活性化させる効果があります。本市では、全日本トライアスロン皆生大会や皆生・大山 SEA TO SUMMIT 等の全国規模のスポーツ大会が開催され、市内外から多くの参加者が集まっています。こうしたイベントを継続・拡大することによって、本市の交流人口の拡大と地域経済の活性化を図っていく必要があります。

また、スポーツを通じた国際交流による多様性を尊重する人材の育成、地域のスポーツ活動への参加促進によって培われる災害発生時等非常時にも住民同士が支え合えるコミュニティづくり、地元のスポーツチームの応援による地域の一体感の醸成等、スポーツには個人の健康増進以外にもいろいろな面で地域住民を元気にする効果もあります。

このため、様々なスポーツの取組を引き続き実施し、地域全体の活性化を図っていく必要があります。

【主な取組】

①スポーツツーリズム等の推進

- ・全日本トライアスロン皆生大会、皆生・大山 SEA TO SUMMIT 等アウトドアスポーツイベントの開催支援
- ・全国健康福祉祭（ねんりんピック）、ワールドマスターズゲームズ等各種大会の開催支援
- ・スポーツ大会及び大学生等の合宿の誘致

数 値 目 標	市が関わる主要なスポーツツーリズムの3大会の参加者数 (内訳) ①全日本トライアスロン皆生大会 ②皆生・大山 SEA TO SUMMIT ③中海オープンウォータースイム	
	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	1,508 人 (内訳) ①1,071 人 ②272 人 ③165 人	1,750 人 (内訳) ①1,200 人 ②300 人 ③250 人

②スポーツを通じた地域活性化

- ・スポーツ関連事業者との連携によるまちづくりの推進
- ・アジア国際ユースサッカーの実施等スポーツを通じた国際交流の推進
- ・公民館活動をはじめとする地域におけるスポーツ活動への参加の促進
- ・ガイナレ鳥取や島根サノオマジック等地域のスポーツチームの応援の促進

数 値 目 標	市民体育祭の参加者数	
	現状値 (H30)	目標値 (R6)
	1,477 人	1,700 人

【関連計画】

米子市スポーツ推進計画